



司祭団マラソン(1月28日) ★待つは、勝利の美酒か？筋肉痛か？

島のひかり ホームページアドレス

<http://lifeaidgoto.jp/cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会  
広報委員会  
五島市平蔵町2716  
TEL 0959-00072  
印刷・(株)才津印刷所

## 啐啄同時そったく

— 神と私たちが復活 —

主任司祭 岩崎 晋吾

主のご復活おめでとうござい  
ます。復活の確認によって教会  
は生まれてきました。すなわち  
教会が今このように存在してい  
るという現実には復活が真実であ  
ることの証しなのです。私たち  
の信仰の原点が復活にあります。

来年日本の教会は信徒発見一  
五〇周年を迎えます。二六〇年  
にも及ぶ禁教と迫害の中、潜伏  
していた浦上のクリシタンたち  
は、大浦天主堂プチジャン神父  
の前で信仰を告白し、日本の教  
会復活への夜明けを迎えるきつ  
かけとなりました。教会復活一  
五〇周年を迎えようとしている  
長崎の教会も今復活に向かって  
歩んでいます。

日本社会の中にあって私たち  
は現在潜伏クリシタンのような  
存在なのかもしれません。しか  
し迫害の時代を潜伏しながらも  
堅固な信仰と工夫をもって生き

てきた私たちの先祖が決して死  
んだ者でなかったように、現代  
の教会も潜伏しているように見  
えても死んでいるわけではあり  
ません。復活の時に向かって今  
こうして歩みを続けているのだ  
と思います。

浦頭教会では復活祭にお祝い  
の復活の卵を準備します。「新し  
く生まれる生命」と「復活」の  
意味を重ね合わせているのです。  
卵からの生命誕生の時、それを  
待つ親鳥と卵の中のひな鳥がお  
互いに内外より殻を同時に破っ  
て新しい生命が誕生してきます。  
禅の言葉である「啐啄同時」が  
これを意味しています。ひな鳥  
の誕生のようにあるものが新し  
く生まれ変わるためにもタイミ  
ング良い自分自身の力と大いな  
る存在の力が同時に働く必要が  
あります。

シノドスはちょうど良いタイ  
ミング。信徒発見の記念の年、  
神と人とが啐啄同時の業におい  
て教会が新しく生まれる時を迎  
えようとしています。

# 霊名のお祝い

二月二十三日、岩崎神父様の霊名（パウロ三木）のお祝いを行いました。

二番ミサ後に祝賀式として信徒からの霊的花束、生花の花束と入口舞桜さんからお祝いの言葉述べて頂きました。



夕方五時からはお酒、ジュースを伴ったお祝い会を大勢の信徒の参加で盛大に行いました。霊名のお祝い時には子供たちの参加をお願いしており、小学生・中学生による歌の出し物、カテキスタ担当のシスター向井、大

水、藤原にも急でありましたがリクエストして美しい歌声を披露して頂きました。

また、江口初子さんには着物を身にまとった本格的な踊り、奥浦混声合唱団の男性方にも歌でのお祝いを聞き入らせてもらいました。

歌のお礼に神父様より子供たちはケーキをお祝い返しをして頂き、子供たちは笑顔で口いっぱいに頬張っていました。

お祝い会の合間、子供たちにパウロ三木という人はどういう人か知っているかとの質問をしたところ、日頃の「けいこ」の賜物と思えますが、よく勉強してこちらの方がよく教えてもらい学ばせてもらいました。人の親として子供に信者として教え、伝えていく事を考えさせられる日となりました。



初子さん  
宴に花を添える

## 平成26年度 浦頭小教区評議会役員名簿

評議会会長(主任司祭) 岩崎 晋 吾		信仰教育委員会 委員長 赤尾 健野 副委員長 入口 明宏 会計 鍋内 秀喜 委員 小学校 浜崎 毅 中学校 浜崎 秀明	
議長 本村 義則 副議長 鍋内 誠次 書記 入口 幸隆 会計 浜木 利光	地区委員会 委員長 梅木 征至 会計 (地区委員) (補佐委員) 浦頭 木口 和雄 赤尾八千代 赤崎 政治 浦 卓子	修道院長 Sr木口 松枝 カテキスタ Sr田端 (小1年) Sr大水 (小2、3年) Sr藤原 (小5、6年) 岩崎神父様 堅信組(中1)	典礼委員会 委員長 小田 哲也 副委員長 赤尾 克子 委員 浜崎 和利 山本 一夫 浦口 一三 浜崎 秀明 荒木 義弘 浜口 幸隆 赤尾 弘樹 浜崎 毅(聖歌担当) 浜崎 哲司 鍋内 孝之 入口 明宏 鍋内 総長 木口 北斗 江口 初子 川口 秀子
経済問題委員会 (堂崎天主堂保存委員会) 委員長 赤尾 一美 会計 木口 利光 鍋内 誠次 小田 洋市	大泊 梅木 征至 会計 梅木 強 浜泊 富上 進 浜崎 忍 堂崎 浦 勝己 白濱裕佳子 嵯峨瀬 谷口 英子 宮原 大楠 進 大楠 末子 半泊 宮川 喜一	広報委員会 委員長 竹山 要司 副委員長(島のひかり編集長) 木口 重憲 会計 赤尾 淳 委員 竹山 巧 入口 信 浜崎クニ子 江口 初子 小田 洋市	
壮年会 会長 浜口 告公 副会长 鍋内 康則 書記会計 鍋内 総長	シメオン・アンナ友の会 会長 鍋内 孝 副会长 入口 義則 副会长・書記 赤尾 スエミ 会計 鍋内 美智子		
福祉委員会 会長 鍋内 絹恵 副会长 書記会計	女性会 会長 川口 登久代 副会长 梅木 小百美 書記会計 入口 君子		

## 「春風よふむか 若者来たる」

二人の若者が大学を卒業して、五島市役所に勤める事になりました。五島は、経済の停滞もあり、一度ふる里を離れた子供達は、中々帰って来て地元就職する事が困難な状況にあります。そんな中、いったん親元を離れ、外からふる里を客観的に大きな視点から捉えた時、何がみえたか。これから、地元で自分自身がどう関わって行くのか。まだ若いながらも真摯に二人が文章に書き込んでくれました。ここに掲載します。

### “五島に帰って来て”

木口 勇氣



今年四月から五島市役所に勤めることになりました。中学の

卒業式で『物理学者になって人の役に立ちたい』と声高に宣言したことを今更懐かしく思います。その童心を継いで、と言えば少々おかしな気もしますが、地域住民の役に立てるよう懸命に従事したいです。

ところで、市役所から合格通知が届いてからというものの不安な思いがありました。地元のために何ができるのだろうかと考えていたからだと思います。

急に話が変わったと思うかもしれませんが、最近大学の友達が五島に遊びに来てくれました。五島を紹介したいと思い、教会に案内したり、五島牛や刺身を腹一杯になるまで食べさせてやりたり……大瀬崎灯台に連れて行った時、景色が素晴らしい、また五島に遊びに来たいと言っていました。

私は、その言葉が嬉しかったです。同時にこんなにも五島に誇れるものがあるのだと実感しました。まだ五島について深くは理解していない私ですが、地

元のために何がしたいかぼんやりとですが浮かんだ気がします。社会人として未熟ではありますが、五島を支えるために精一杯頑張らせてもらいますので皆様よろしく願います。



### 「ふる里と共に」

濱邊 義幸



この度ご縁がありまして五島市役所で土木関係の仕事をする事になりました。私は働くなら地元のために働きたいと考えていたのでとても嬉しく思っています。ここまで来れたのは今まで多くの方々が支えてくださっ

たおかげです。これからは今まで学んだことを生かして、今までお世話になった分の恩返しのために、そして、五島市をより安心、安全な町にするために働きたいと思います。また、今まで大学時代を除く十八年間五島で生活してきましたが、地域活動への参加は少なかったし、五島について知らないことも多いと思います。これからは改めて五島に住む者の一人として色々な活動を行い、五島についてさらに理解を深めていければと考えています。皆様にはこれからも色々とお世話になると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



# 初聖体

鍋内 秀喜

初聖体の秘せきを授けて下さいました岩崎神父様、今日まで御指導下さいました赤窄園長シスターをはじめ、保育園の先生方、そして共に祝って下さいました小教区の皆さまに心より感謝いたします。

子どもたちは、神様のことをたくさん聞き祈りを覚え、最近ハミサも最前列で園長シスターと一緒にあずかるなど、少しずつ期待と不安をもって迎えた初聖体の日。

本当に清くどこか輝いて見えました。

たくさんのお恵みを頂き、聖霊に満ち溢れていく子どもたちの祭壇前の姿は、私たち大人へも改めて信仰を見つめ直し、祈ることを教えてくれた思いです。このたくさんのお恵みとともに、いつも神様とともにいて、祈る気持ちを大切に信仰をはぐくんできてほしいと思います。

最後になりますが、神様からの秘せき・祝福に預かり、共同体全体から祝っていたいただいたことへの大きな喜びいっぱいの子どもたちをこれからも温かく見守っていただき、ときには厳しくご指導いただきまますようお願いいたします。

## おれいのことば

しんぶさま、きょうは ぼくたちに、ごせいたいをさずけてくださり、ありがとうございます。

ぼくたちは イエスさまのことを べんきょうしたり、ミサにさんかして じゅんびしてきました。やさしくて かつこいい イエスさまがだいすきです。

もうすぐ ぼくたちは 一ねんせいになります。しょうがくせいの みなさん、いろんなことをおしえてください。

おとうさん おかあさん、たくさん おいのりして下さったきょうかいのみなさん、ありがとうございます。これからも、ぼくたちをみまもり、いろいろおしえてください。

ぼくたちも、イエスさまのように やさしくなれるよう がんばります。よろしく おねがいします。

だいひょう なべうちこうし



## 浦頭の歴史講演

木口 利光

一月十九日(日)の二番ミサ後、奥浦地区歴史探訪協議会主催で「知ろう浦頭の歴史」と題する講演会が開催されました。

木口松枝修道院長より、生涯をかけて奥浦修道院を支え続け旧福江市名誉市民にもなられた Sr 木口マツさんの思い出が語ら

れました。

私は、人生の後半を日本人初海外派遣宣教師としてブラジル宣教に努め、「日系ブラジル人の父」と慕われた中村長八神父様の事について話させてもらいました。

御二人は共に浦頭出身であり、その貴い生涯は次の世代に語り継ぐべき事だと考えます。

最後に浦頭出身で福江在住の木口栄さんより「浦頭史と民俗考」と題しての地域の身近な歴史を掘り下げた講演が行われました。

当日は十一時より堅信式が行われる日程での、短時間の講演となりましたが、地域の歴史と信仰を振り返る貴重な機会ではなかったかと思えます。



# 移動信徒(高卒)の集い

三月十五日、信仰教育委員会の主催による移動信徒の集いが、神羊館ホールに於て行われた。新卒者は男子七名、女子四名で保護者同伴、教会役員も出席し盛大な激励会となった。先ず神父様より訓示があり世界のベストセラーとは何ですか?の問いに、誰ともなく聖書ですとの声。この聖書を神父様より贈られた。ここで一言、家に置いていってはいけません。必ず持っていつて何かあった時に開いて見なさい。

しばらく会食が続いた後、新卒者の自己紹介、行き先、自分の抱負など述べた。続いて保護者の子供に対する心構え、一抹の不安など、色々な思いが交錯する。最後に教会役員によるアドバイス等ありましたが、頭の片隅にでも入れておいてほしい。最後に神父様、保護者、新卒者で記念写真を撮り、寄せ書きにそれぞれの想いを残していった。

新卒者の皆さん、ふるさとを離れて、知らない土地で生活します。自分の信念をしっかりと持って生活して下さい。教会も忘れずに、皆さんのご活躍とご健康を祈ります。頑張ってください。追伸、島のひかりにお便りを下さい。親にもですよ。

新卒者 保護者

- |       |        |
|-------|--------|
| 竹山 勝晴 | 巧 妙子   |
| 鍵原 永太 | 和男 光恵  |
| 川口 駿  | 恵二 美雪  |
| 赤尾 悠貴 | 健野 克子  |
| 赤尾 太一 | 正信 登美子 |
| 本村 勝義 | 義則 妙子  |
| 沼田 陸門 | 百合枝    |
| 梅木 萌美 | 強 マリ子  |
| 鍋内 麻美 | 誠次 由紀子 |
| 竹山 由夏 | 巧 妙子   |
| 川口久美子 | 嘉久 登久代 |



# 侍者旅行

去る、四月三日、四日侍者七名（シスター一名、司祭一名）が長崎・佐世保へ侍者旅行を行いました。以下は子供達の感想です。今後の奉仕にも期待しています。



パールシーリゾート  
イルカショーを見ながら。

## 六年 入口駿一朗

ぼくが侍者旅行で心に残ったことは、水族館でイルカのショーをみて、イルカがいろいろな技をしていたのですごいなと思いました。次の日に浦上天主堂でミサをしたことで五島とちよつとミサのやりかたがちがっていたのでちよつとやりづらかった

です。今年の侍者旅行は楽しかったのでまた行きたくなりました。

## 三年 鍋内くれあ

わたしは、海キララに行ってみんなでいろいろ見て行ったのが、たのしかったです。

朝ミサに、早おきして、行ったから、すぐくねむたかったけど、うらかみてんしゅどうの教会を見れてうれしかったです。これからも、じしゃを、がんばりたいと思います。

## 五年 濱崎沙也加

私は、じしゃ旅行で、海きららに行った事が、一番心に残りました。たくさん、おもしろい魚がいて、とても楽しかったです。ボーリングや、みんなごはんを食べたのも、とても楽しかったです。じしゃを、がんばってよかったですと思いました。これからも、じしゃをたくさんがんばって、また、みんなでじしゃ旅行に、行きたいです。

## 六年 鍋内 優海

ぼくは、侍者旅行で水族館に行きました。水族館では、カメ

ラで写真をとりました。イルカのショーも見ました。家族のお土産も買いました。次の日の朝は浦上天主堂に行きました。ぼくが思ったことは、信者が多く、きれいだっただけです。また侍者旅行に行きたいです。

## 五年 鍋内 凌空

ぼくが、じしゃ旅行で、心に残ったのは、水族館に行ったことです。イルカのショーを見たり、いろいろな魚を見たりしました。次の日の朝に、浦上天主堂のミサに行きました。浦頭のミサとやりがちがっていたので、少しやりにくかったです。また、じしゃ旅行に行きたいです。



パールシーリゾート入口にて。

## 中一 入口 舞桜

私は、この侍者旅行が、初めて最後でした。一日目に、海きららとボーリングに行きました。二日目には、浦上天主堂の六時のミサにあずかりました。

この侍者旅行に行つて、良かったです。初めて行った、海きららでは、イルカのショーを見ました。思ったより、イルカは大きかったです。これからも、侍者などをがんばりたいです。

## 五年 白濱 光玖

このじ者旅行で私が楽しかった事は、一日目に行った水族館の海キララです。その中でも一番印象にのこったのは、イルカのショーです。思ったより水がたくさんとんできました。

それから、二日目に浦上天主堂の朝ミサに行きました。教会はとてもでかかったです。今年のじ者旅行も、楽しかったです。



# 黙想会



## 感謝のいっば

尾高神父様、私達の黙想会で御指導下さいました事、心より感謝申し上げます。三日間の御指導お疲れさまでした。

神父様の小神学生時代からローマ留学・助祭・高見大司祭様の秘書に至る経歴をからめながら、色々な事を話していただきました。

私・個人的に体力が落ち、ついでに耳の方もだんだんときびしくなる中で、言葉を聞き取れない事もありましたが、感じた事を伝えたいと思います。

私達の信仰について、それは聖ペトロ・聖パウロ使徒の時代から受け継がれたもので、今も生きており、又、生き続けているものですよ！又、言葉は変化しても信仰は変わりなく、とても大切なもので、伝えていくべきものです。と話されました。

信仰のうすい私ですが強める様に努力します。聖書には「カラン種ほどの信仰があれば」とありますが、その信仰を目標に頑張りたいと思い、又、私達は罪人です。どのような人にも対話し、ゆるし合う事は、人として大切な事です。人は人として弱さがあり謙虚な心で、ゆるしを願い、

神の愛にすぎり、神にたよる事が大切です。マリア様は総てを受け入れ、神の母となりました。私達もマリア様に倣い、神様の望みに応えていかなければいけません。総てを受け入れ、神によりすぎり私達が信仰に満ちた生活を日々送る事が出来るようにしましうと諭されました。ここに集まった皆さんはきつと出来ると思います。

この気持ちをいつも持ち続ける事が出来るように、マリア様にお祈りをしたいと思っています。

最後になりますが、これからも神父様が健康に恵まれて、神様の恵みと愛に満ちた生活が送れますように心からお祈り致します。

信徒代表 本村義則

## 堅信式を終えて

濱崎 吉成

一言で言うならば長かった九年間でした。初聖体を授かったその直後から教会学校が始まりました。四年生になり真浦神父様の勧めで侍者をする事になり、雪がちらつく冬はいやになることもありましたが、三年間続けることができました。中学生になり朗読が強化されてきました。遊びの方も広範囲になり時々教会学校をさばりましたが、どうにか堅信のお恵みを頂くことができました。今まで神父様、シスター、信徒のみ

なさんありがとうございました。



## 司祭団マラソンに参加して

木口 誠也



当日休みという理由で、半強制的に参加が決まり、八・五km完走を目標に参加しました。

オーバーペースでバテ気味になり、歩こうかと考えていた私を待っていたのは、平和のぼら保育園の園児達やマリアの園のお年寄り、信徒の方々の温かい声援でした。不思議なもので、歩こうとしていた身体に背中を押されるような力が湧いてきて、何とか三位で完走出来ました。

初の司祭団マラソンでしたが、地域の信徒の方々の温かさや結びつきを感じる事の出来たい大会だと感じました。

## 秘

## 跡

《堅信》(一月十九日)

ミカエル 濱崎吉成

《帰天》

マリア 鍋内ツイ(八五歳)

(一月二十一日)

アグネス山口キミ子(八十歳)

(二月二日)

ヨアンナ谷尾ハル(九七歳)

(二月二十四日)

《転入》

野原とよ子さん(福江↓浜泊)

熊野利枝さん(福江↓浦頭)

《初聖体》(二月九日)

鍋内 大蔵(総長)

鍋内 孝志(秀喜)

小林 美結(利彦)

## ありがとう

今回も次の方々より 御芳志を頂きました。心より感謝します。

長崎市

カトリック長崎大司教館

尾高 修一神父様

ベトナム 富上 毅様

佐世保市 匿 名様

大村市 田代 弘様

# 人物往来

奥浦修道院

## 《転出》

Sr 赤窄 須美子 福江修道院

Sr 向井 春菜 サンタマリアの家

## 《転入》

Sr 田端 佐知子 太田尾修道院

Sr 富原 真都華 太田尾修道院

# 感謝

## 香典返し

カトリック浦頭教会

鍋内好博様 浦頭

故マリア 鍋内 ツイ様

川口 護様

故アグネス山口キミ子様

江川英子様

故フランシスコ江川利光様

谷尾 梅吉様 奥浦

故ヨアンナ 谷尾 ハル様

右の方々からご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

# ふる里だより

## カメラリア五島 宮原に炭焼き小屋建設

五島列島特産の椿を利用して、街づくり、文化振興、地域保全、経済活動の活性化に関する事業を行い、五島列島の地域振興と椿関連産業の振興に寄与することを目的とする、NPO法人

「カメラリア五島」は、宮原に手作りの炭焼釜建設を計画。二月中旬より会員が作業に当たり、四月三日に火入式（開釜）が行



われた。これは、椿林整備の際の断幹による椿の木の活用を目的とし、灰の少ない高級木炭の生産に繋げることを目的とする。

釜の内部は、幅2メートル、奥行き2・5メートル、高さ1・7メートル。一度に二〇〇から三〇〇本の木炭を作る事ができるといふ。火入より三日間火を絶やさず、木炭が完成するのは五日後の事。

これからは、椿油製油施設も検討中である。と永治克行理事長は語っていた。

## 新船「ソレイユ」

### 就航

四月一日より、福江〜椛島航路のソレイユ船として、新船が投入されます。（木口汽船所有）

旧船と同名のソレイユは名前の由来である「太陽」と風車かざぐるまを鮮やかなミントグリーンの中に散りばめながら「スー」と静かに白波を淡く立てながら進みます。客船として騒音が小さく、快適な乗り心地が楽しめます。

（旅客定員六十名。航海速力二十三・五ノット）



## 編集後記



春は桜、教会の庭の桜はいっ観ても格別!!綺麗だ。なのに、春の嵐のバカ。アツという間に散らせてしまつて…でも五島は雪も降らないし地震もないから文句は言えないしねエ。花散りて実が残りに地に芽生える。これも復活なのかなあ?全て受け入れ後は神のみ知り、人の目には不思議な事の出現?なんてね。桜は哲学の木なのかも。  
by 初子